

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

PDCA		学校給食センター管理運営事業	部課等名	教育部 学校教育課 学校給食センター担当	学校給食	No. 30-053	担当 内線等	〒170-8501 東京都千代田区 28-2461
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (6) 学校給食の充実 個別施策： ①安全安心な給食の提供						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	適正な衛生管理のもと食中毒等の事故防止に努め、効率的な運営を図る。						
	目的を達成するための手段・活動内容	食中毒、異物混入などの事故防止と給食の安定供給を図るため、衛生管理の徹底をする他、施設、設備や調理機器の保守管理、修繕を適切に行う。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位		
		①食中毒等問題発生件数	0	0	0	件		
		②						
		③						
		事業費	86,670	87,794	89,724	千円		
	人件費	41,411	41,961	42,072	千円			
	総事業費	128,081	129,755	131,796	千円			
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位			
	①小・中学校児童生徒1人あたりの管理運営費	11,811	12,114	12,408	円			
	②							
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位			
	①食中毒等問題発生件数	実績値	0	0	0	件		
		目標値	0	0	0			
	②	実績値						
		目標値						
	③	実績値						
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	B						
		身体の発育期にある児童生徒に、バランスのとれた栄養のある給食の提供を行う中で、集団食中毒の発生防止など、衛生管理の徹底を図ることができた。また、施設、設備や調理機器の保守管理、修繕を実施するとともに牛乳パブリックリサイクル事業を遂行することができた。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		今後も学校給食衛生管理基準等に基づき、適格な衛生管理を実施し、食中毒の発生防止を図っていく。手洗いの徹底など、基本的な対応が最も大切であるため、調理業務従事者、学校での配膳従事者に対する衛生管理意識の向上を絶えず図っていく。						
令和元年度の目標		成果指標	目標値	単位				
	①食中毒等問題発生件数	0	件					